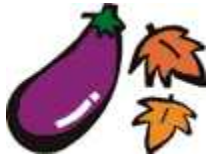




箕輪進修高校 進路指導室

2012. 10. 1

3, 4年生用 No.46



失敗から学ぶ

大変厳しい就職戦線の中で、不合格者の数がかかり出ています。うまくいかなかった人の中にはショックを受け沈み込んでいる人もあるかもしれません。しかし人生には失敗はつきものです。本田宗一郎が「99%の失敗に支えられた1%の成功」と言っていますが、**失敗を恐れたり、一回の失敗に沈み自信を喪失してしまったのでは何も出来なくなってしまいます。**失敗は誰にもあり得ます。たまたま受験した会社に縁がなかっただけであり、あなたにふさわしい別の会社があると考えれば深刻に落ち込むことはありません。

そもそも試験に向け面接練習以外自分で努力したことはありましたか。ろくに事前の努力もせずに結果だけ見てショックを受けていたとするならば情けないことです。**失敗したらなぜいけなかったのかをきちんと反省し次に生かす**ように心がけましょう。失敗したことを全てリセットして同じ失敗を繰り返してはなりません。それでは幾度失敗しても同じことです。

各種報告書の提出を！

就職、進学にかかわらず受験報告書を必ず提出して下さい。時間が経てば詳細を忘れてしまい後輩達の参考にならなくなってしまいます。是非**早めに提出**して下さい。また**二次以降の受験の際も再度見学申込書や受験の際は親の同意書等が必要**になります。忘れずにそれぞれの書類を提出して下さい。

秋の夜長に読書を



面接練習をした際に何人かに「最近読んだ本は？」と質問しましたが多くの人は高校に入ってほとんど本を読んでいないと答えていました。今の時代はテレビや、ネット等により様々な情報を手軽に手に入れることが出来ます。そのために読書から遠のきがちです。しかしじっくり一つの本に向き合い、様々な想像力を働かせて読み進むことにより、考える力や、語彙力、集中力等を知らず知らずのうちに養います。

一冊の本を書くのにその著者は膨大な時間をかけ、それなりの情熱を傾けて書いているはずで、著者の言わんとすることは何かを考えることにより思考力も養うでしょう。

また本は読みっぱなしではなく、読書ノート等を作り、そのあらすじや感想を書いたりすることも良いでしょう。読むことと書くことを併用すると、読書の効果はより深まるでしょう。

ともあれ、若く純粋な時期に、**良い本に出会い心の肥やしを養って欲しい**ものです。秋の夜長に是非読書を心がけましょう。

10月10日(水) 辰野・箕輪町中小企業合同説明会開催

地元で高校生の就職支援として上記会を開催予定(詳細は後日報告)

いくら他人を変えようとしても
変えることは出来ません。
ましてや過ぎ去った時間を取り
戻す事は不可能です。
変えられるのは自分と未来だけ
です。

他人と過去は変えられない

お釈迦様

